

あこやかちゃん



豪琉ちゃん・麻璃亜ちゃん・瑠海音ちゃん

(平成17年4月25日生・平成19年7月11日生・平成21年3月3日生)
両親＝酒井剛士・美貴子さん〔鎌数〕
「酒井家なかよし3人兄妹！」



いちか
一嘉ちゃん(平成20年8月9日生)
両親＝佐久間崇・寿美さん〔下永井〕
「こんなに歯がはえたよ！
これからいっぱいたべるんだ！」



このか
好花ちゃん(平成17年10月26日生)
両親＝飯島忠義・久枝さん〔二〕
「似合うかしら!?このちゃん、
マリーになってみました♡♡」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



9 天然記念物

あさひ浪漫紀行
—文化財を訪ねて—

文化財というと建造物、絵画や彫刻などの美術工芸品、民俗芸能などが思い浮かぶでしょうか。これらは先人の知恵や技術、信仰などが有形無形の形でうみだされ、人から人へ受け継がれてきたものです。

一方、自然を対象にした文化財もあります。動植物や地質鉱物などの天然記念物です。これらは学術上貴重であるだけでなく、私たちの暮らしや文化を形成する基盤として、人とのかわりについての指標として捉えられています。

旭市の天然記念物のうち、植物の群落・森をいくつか挙げられますが、特徴的なのは、旭の低地をとりまく台地、特に海上地域の崖上には常緑の広葉樹であるスダジイの群落が帯状に連綿と続いていることです。特に龍福寺(岩井)ではスダジイの極相林を形成し、県の指定を受けています。極相林とは、何百年も人の手が加わらない状態で草木の種類が徐々に変化し、最終的には安定して生育する樹種が優占する森林をいいます。



▲天神社(倉橋)

特定の樹種が優占する自然環境は、生態として価値があるだけではありません。天神社(倉橋)、雷神社(見広)や大宮大神社(松ヶ谷)でも、スダジイのある植生を森・群落として市で指定しています。これらは「鎮守の森」としての印象が強いのではないのでしょうか。鎮守の森は、自生する植物に対して畏敬の念を抱いていたからこそ守られ、昔から大切にされています。矛盾するようですが、昨今、人がかかわらない自然は無いかもしれません。

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 4日(金) 人権週間(～10日(木))
- 6日(日) 第5回あさひ寄席(14:00～東総文化会館)
- 7日(月) スターライトファンタジー(～25日(金))
- 10日(木) 冬の交通安全運動(～31日(木))
- 13日(日) 旭市議会議員一般選挙投票日
- 20日(日) 旭市民駅伝大会(8:20～東総運動場)
- 23日(水) 天皇誕生日
- 28日(月) 市役所仕事納め

編集後記

はく息も白くなり、一気に寒さも増してきました。空気が澄み、夕暮れ時やライトアップされた町並みが、高台から見るととてもきれいな季節です。そういえば、今年のスタァライトファンタジーはちよつと趣向を変えて行われるようです。是非、足を運んでみてください。一人ではちよつと寒さに耐えられないかもしれないうので、気の合う仲間や家族・恋人と出掛けることをお勧めします。

(ま)